



中国における自動車部品ビルト事業案件概要

2014年11月10日

株式会社 アーネスト

中国における自動車部品ビルト事業への参画



1. 中国における自動車部品ビルト事業への参画

- ▶中国・武漢において、本邦総合商社最大手の1社である三井物産社、中国リサイクル最大手の格林美(グリーンメイ)社と自動車部品ビルト事業の為に新規合弁会社を設立し、当該合弁会社へ30%出資参画する。
- ▶合弁会社は、当社の技術指導の下、ビルトに必要な設備を導入しビルト部品の生産・販売を行う。

2. 政策性・戦略性

- ▶従来の資源多消費型社会から環境循環型社会への転換の動きが顕著な中国における環境循環型ビジネスへの参画。
- ▶自動車保有台数の伸び、使用年数長期化により拡大が見込まれる自動車補修部品市場に、日本で確立された技術をベースとした高品質ビルト部品にて参入し、環境循環型ビジネスを推進する。
- ▶中国リサイクル最大手の格林美社と、自動車・家電リサイクル、再生資源からの貴金属抽出等、地上資源分野・環境循環型ビジネスの事業展開を図る。

3. 合弁会社概要

- ・新会社名(仮): 武漢汽车零部件再製造有限公司/ GHM Auto parts remanufacturing company
- ・所在地: 中華人民共和国湖北省武漢市
- ・設立予定(稼働時期): 2015年3-4月(2015年9月頃)
- ・払込資本金: 40百万元 (全体: 約7.5億円、当社分: 約1.9億円)
- ・出資比率(取得価格): 格林美45%(18百万元)、アーネスト30%(12百万元)、当社25%(10百万元)
- ・事業内容: 自動車中古・廃部品を原料とするビルト部品の製造・販売
- ・初期製造品目: スターター(エンジン始動用モーター)、オルターネーター(発電機)、年間生産能力: 360千個 (2品目合計)
- ・事業規模: フル生産時年間売上高約40億円

4. パートナー概要

格林美社(売上高: 約655億円)

- ・深圳A株上場、中国No1総合リサイクル会社(基幹工場は湖北省荊門市)。
- ・従業員数: 約2,500名(集団全体)。
- ・事業分野: 電池材料(Ni/Coパウダー)製造、家電リサイクル、自動車リサイクル。
- ・Coパウダーの中国国内シェアは50%。
- ・携帯電話用電池材料(前駆体)中国国内シェア30%強。
- ・同社許董事長は中南大学(本邦東京工業大学相当)名誉教授、東京大学への留学経験有り。

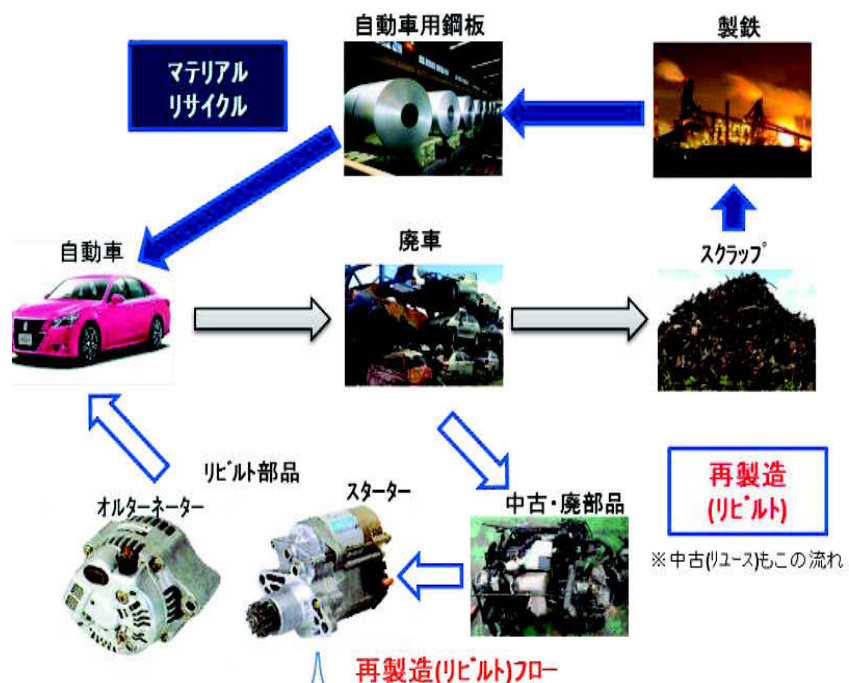
三井物産社(売上高: 5.7兆円・当期純利益: 4,222億円)

- ・1947年(昭和22年)設立
- ・従業員数: 6097人(連結従業員数: 48,090人)(14年3月末)
- ・事業内容: 総合商社。鉄鋼製品、金属資源、プロジェクト、機械・輸送システム、化学品、エネルギー、食糧、食糧事業、コンシューマーサービス、次世代・機能推進の各分野において、全世界に広がる営業拠点とネットワーク、情報力などを活かし、多種多様な商品販売、とそれを支えるロジスティックス、ファイナンス、さらには国際的なプロジェクト案件の構築など、各種事業を多角的に展開。
- ・事業拠点: 142(国内12、海外130)

自動車部品リビルトとは



リビルトとは「再製造」のことで自動車から取り外した中古・廃部品に対し、全部品を洗浄・検査・修理・研磨した後、消耗品を交換し、組立・検査を行ない製品にすること。自動車リサイクル事業の一形態。



3R+1R

Recycle (リサイクル) 再資源化
 Reduce (リデュース) ... 廃棄物の発生抑制
 Reuse (リユース) 再使用
 → Rebuilt (リビルト) / Remanufacturing (リマニュファクチュアリング) 再製造

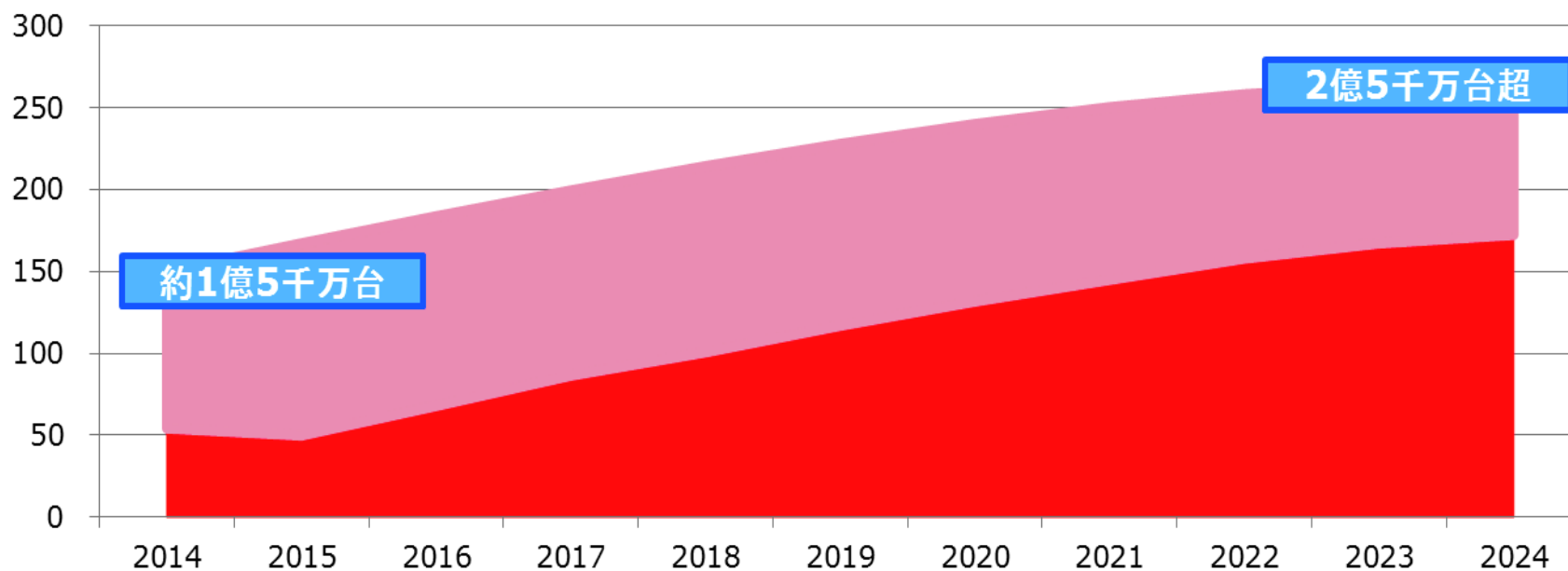


中国、米国、日本の自動車保有台数、新車販売台数(2013)



2013年 (予測値含む)	自動車保有台数	新車販売台数
中国	1.27億台	2,182万台
米国	2.5億台	1,560万台
日本	7,660万台	537万台

中国自動車保有台数予測



(出所)一般社団法人 日本自動車工業会、世界自動車統計年鑑2013、世界自動車産業の生産・販売台数予測調査2013年版、マークライنز、三井物産戦略研究所